

会社案内



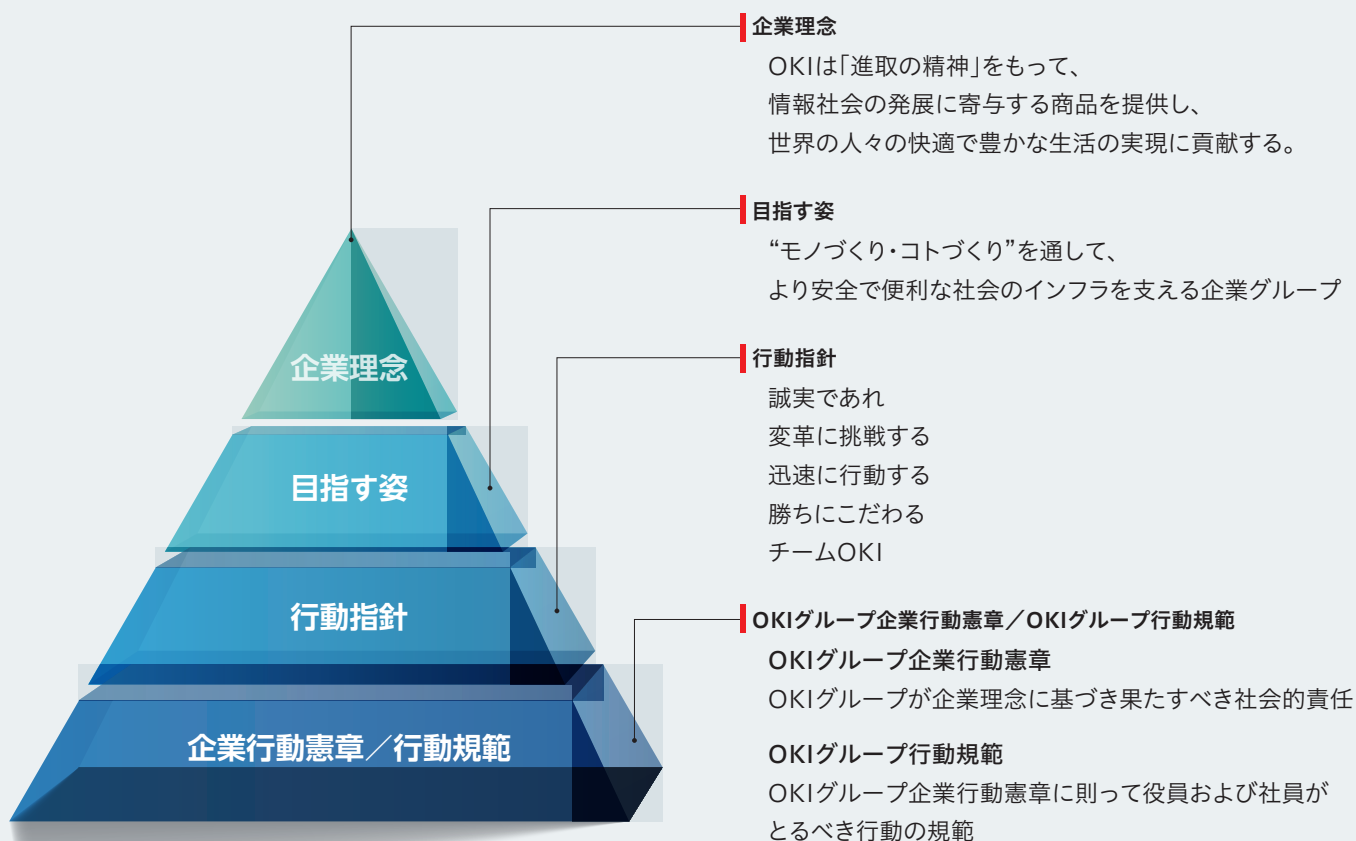
Since 1881

「進取の精神」で社会課題解決に貢献

OKIは1881年、日本で最初の通信機器メーカーとして誕生しました。

電話機製造という未知の領域に積極的にチャレンジした創業者の進取の精神を受け継ぐ企業理念のもと、さまざまな社会課題の解決に取り組んでいます。

OKIグループが共有する価値観



「社会の大丈夫をつくっていく。」をキーマッセージに、 ミッションクリティカルなモノづくり・コトづくりを通じて 社会課題を解決していきます。

OKIは、創業以来140年を超える歴史のなかで、常に現場におけるお客様の課題に寄り添い、止まることが許されないミッションクリティカルな社会インフラを支える商品・サービスの提供を通じて、その課題の解決に貢献してまいりました。こうした活動を通じて、常にお客様に安心をお届けし、ステークホルダーのみなさまの信頼を得ることが、企業価値向上の基盤であると認識しています。

こうした姿勢を長期的に継続し「社会の大丈夫をつくっていく。」企業として、「安心・便利な社会インフラ」「働きがいと生産性向上」「地球環境の保全」の3つの貢献分野で社会課題の解決につながる価値を提供していくことが、創業150年を迎える2031年に向けたOKIのありたい姿です。

このありたい姿の実現に向けて、環境変化への対応力を強化しながら次の成長に向けて舵を切り、持続的な成長と企業価値の向上を図るべく、2023年4月には「中期経営計画2025」をスタートしました。取り組むべき重要課題（マテリアリティ）に基づきサステナビリティ経営を実践するとともに、OKIの強みであるエッジ技術やノウハウを活用し、既存事業領域はもちろんのこと、成長が見込まれる新しい領域にも積極的にチャレンジし、将来事業の創出を目指してまいります。

キーマッセージである「社会の大丈夫をつくっていく。」に込めた想いのもと、OKIグループが貢献する分野の社会課題解決のため、これからも安心して暮らせる社会を支える新たな価値を創造・提供してまいります。

今後とも倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。



代表取締役社長執行役員 兼 最高経営責任者

森孝慶

パブリックソリューション

社会インフラを支えるミッションクリティカルなソリューションを提供

パブリックソリューションセグメントでは、止まることが許されないミッションクリティカルなソリューションを通じて安全・安心・利便性を提供し、社会に貢献するとともに、無線、センシング、データ分析・予測技術やノウハウを活かし、社会インフラに係るお客様の業務に特化したプラットフォームを提供していきます。



通信インフラ×社会インフラソリューションで
安全・安心・利便性を提供し社会に貢献



目指す姿

安心・便利な社会インフラ

設置したセンサー情報から構造物の状態を「見える化」するサービスを提供し、遠隔監視を実現することで、安心・便利な社会インフラ利用の実現に貢献します。

地球環境の保全

交通流の円滑化による渋滞解消などでのCO₂削減や、海洋騒音の監視などによる海洋生物保護などのデータ活用にて地球環境の保全に貢献します。

働きがいと生産性向上

公共サービス業務に対し利便性の高いソリューションを提供することで、労働力不足解消や業務効率化の実現に貢献します。

● 主な製品・ソリューション



道路関連システム
ETC、プローブ交通情報の収集/分析/予測など



航空関連システム
航空管制など



消防・防災関連システム
消防指令無線・市町村防災無線など



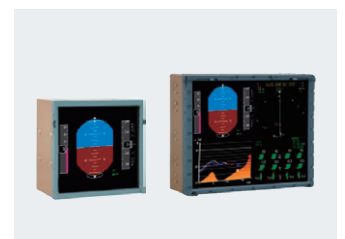
官公庁向けシステム



端末からバックボーンに至るネットワーク
(CenterStage, 5Gルータ)



計測バージ (SEATEC NEO)
防衛・海洋計測向け



民間航空向けのコックピットディスプレイ



エンタープライズソリューション

労働力不足の解消と業務効率化を実現するソリューション・サービスを提供

エンタープライズソリューションセグメントは、メカトロ製品の設計・開発・製造と、メカトロ製品やネットワークを含めたソリューション、さらには設置・工事・保守からフルアウトソーシングによるATM運用・監視のリカーリングまで、一貫したバリューチェーンにより、安全で便利なソリューション・サービスを提供します。キャッシュレス、ペーパーレスといった「現物レス」の潮流の中で、OKIの強みであるメカトロ技術を活かし、店舗などの自動化／セルフ化を実現する商品群により労働力不足の解消やお客様の業務効率化に貢献するとともに、ATMで培ったリカーリングモデルのサービスを公共・医療、運輸・交通、流通市場などにも展開していきます。



目指す姿



働きがいと生産性向上

自動化／セルフ化を実現する商品により労働力不足を解消し、その結果創出される労働時間をお客様の本業に関わる業務に使っていただくことで働きがいにも貢献します。



地球環境の保全

消費電力を削減した商品や工場でのCO₂削減により環境に貢献します。運用のアウトソーシングや遠隔監視による予防保守・予兆保守により、現場の出動回数を低減し、運用シーンでも環境負荷の低減に貢献します。



安心・便利な社会インフラ

ATMなどのエッジデバイスに対し遠隔監視・運用を提供することでATMやシステムの稼働を担保し、安心・便利な社会インフラの維持に貢献します。

● 主な製品・ソリューション

営業店/事務集中システム

Web・スマホアプリケーション

ネットワークソリューション

金融機関

営業店/事務集中システム (ATM、SmartCashStation、営業店端末、現金処理機など)
Web・スマホアプリケーション
ネットワークソリューション(映像監視、NWセキュリティ)

リテール

現金処理システム (出納機、釣銭機など)

運輸旅客

自動手荷物預け機、セルフタグ発行機、自動チェックイン機
予約発券端末、鉄道発券システム など

製造

プロジェクションアッセンブリーシステム、
行為判定など

コンポーネントプロダクツ

センシング、AI、通信、出力をカバーするコンポーネントで社会に貢献

コンポーネントプロダクツセグメントは、OKIが長年培ってきたセンシングや通信技術に加え、AIといった最新技術も取り込み、インフラ老朽化や労働力不足などの社会課題の解決に貢献するエッジデバイスの提供、さらには働き方・顧客接点改革を実現しビジネスの生産性向上を可能にする音声・映像・テキストを活用したコミュニケーション・プロダクトおよびタフネス、省スペースを実現したプリンターを提供します。OKIのソリューションを実現するためのプロダクトを各事業セグメントへ供給する役割を果たすと同時に、直販・間販・OEMビジネスなどを通して、国内外のお客様へ広くプロダクトを販売、お届けしていきます。



目指す姿

働きがいと生産性向上



ビジネスコミュニケーションでは、テレフォニー機能を活用し、働き方・顧客接点を改革します。また、プリンターでは、タフネス・省スペース・シンプル構造を活かして、現場の生産性向上・業務改革に貢献します。

安心・便利な社会インフラ



エッジデバイスでは、安心・便利な社会インフラを支援します。AI解析技術を用いた交通状況やインフラ構造物の遠隔モニタリング、手軽で効率的につながるセンサーネットワークを活用した電力見える化など、気候変動影響への対策として、社会インフラ維持に貢献します。

地球環境の保全



● 主な製品・ソリューション



ビジネスコミュニケーション
コンタクトセンター、PBX・ビジネスホン



プリンター
各種モノクロ/カラープリンター、小型チケット・ラベルプリンター/特色高速プリンターなど

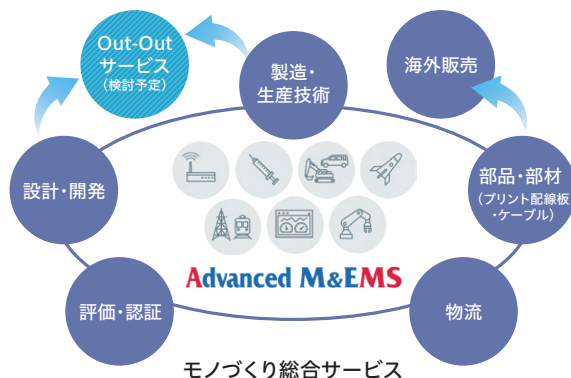


エッジデバイス
AIエッジコンピューター、920MHz帯マルチホップ無線、ゼロエナジーIoTシリーズ

EMS

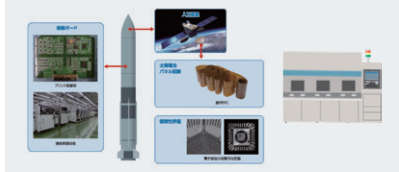
設計から製造、信頼性試験までをワンストップで提供するモノづくり総合サービス

EMSセグメントは、主にEMS(設計・製造受託サービス)事業や部品事業、エンジニアリング事業で構成され、設計から製造、信頼性試験までを網羅するモノづくり総合サービスを提供します。OKIの強みである通信やメカトロ技術を活用し、社会インフラである産業計測機器や医療、さらには航空宇宙分野などにおいて、「変種変量」「高品質」が求められるモノづくりに注力しています。また設計、プリント配線板やケーブルなどの部品や装置組立、エンジニアリングといった部分的なサービスも提供することで、お客様のニーズに柔軟に対応します。お客様の製品を製造面で支える「製造プラットフォーム」として、モノづくりの「困りごと」を解決していきます。



目指す姿

安心・便利な社会インフラ



高い品質基準が要求されるハイエンド領域でのお客様製品の生産を通して、安心・便利な社会インフラの実現に貢献します。

地球環境の保全



使用済み電極線などの製品回収・リサイクルを推進、また自社工場の省エネにも積極的に取り組み、持続的なモノづくり環境を実現することで地球環境の保全に貢献します。

働きがいと生産性向上



自動化技術の開発・導入に積極的に取り組むとともに生産性を向上し、労働環境改善を実現することで働きがいと生産性向上に貢献します。

● サービス提供領域



情報通信機器



計測機器



産業機器



医療機器



航空宇宙・車載電装品

技術戦略

詳細情報

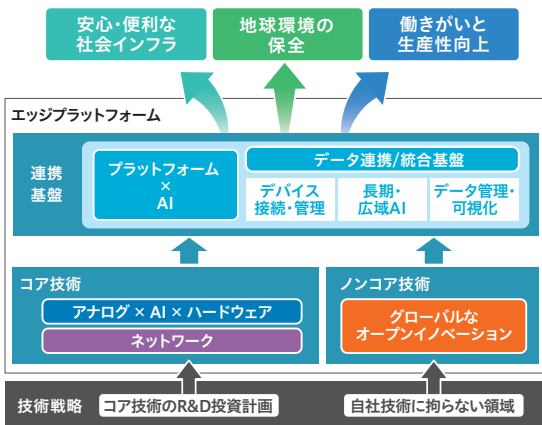
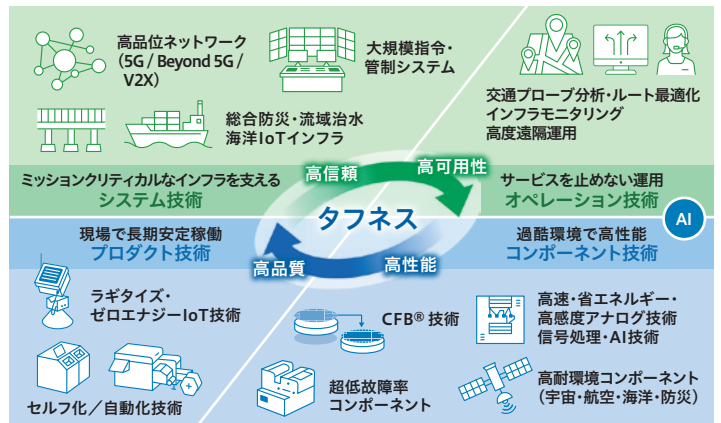


OKIのコアコンピタンス「タフネス」

OKIグループは、社会インフラの「止まらない／止めない」を実現する高度な技術を保有しています。技術開発のバリューチェーン全体に強みを持つ、このコアコンピタンスを「タフネス」と呼びます。

信頼性、可用性の高いプロダクト・サービスを創出するのみならず、コンポーネント技術によりAIや信号処理などでさまざまな環境に耐えうる高性能を実現します。また、オペレーション技術では、可用性を高めるとともに、インフラのサービスに紐づき日々生まれる膨大なデータの高度活用を可能とします。このように「タフネス」を構成する技術において、強みをさらに伸ばしていくことを技術戦略として定義しています。

コアコンピタンス「タフネス」



エッジプラットフォーム

「エッジプラットフォーム」は、OKIが長年培ってきた「エッジ」領域における技術の強みを束ね、繋ぎ合わせることで、お客様の多様な課題をスピーディに解決する、ソリューション基盤の技術コンセプトです。

OKIが得意とするコア技術に対しては、グローバルな研究機関との連携で強みを伸ばし、補完すべき技術は、自社技術に拘らず、スタートアップなどとのグローバルなオープンイノベーション活動を通じて取り入れ、エッジプラットフォームの成長を加速します。OKIは、エッジプラットフォームを通じて技術革新を進め、持続可能で安心・便利な社会インフラをお届けします。

生成AI活用

OKIは生成AI技術に対し、多面的な取り組みを行っています。

将来事業への強みを築くため、エッジ領域が生み出す多様な時系列データに対応した、マルチモーダルな生成AI技術を研究しています。また、発展が著しい大規模自然言語モデル(LLM)を、効率的・高精度に利用するため、さまざまなデータのベクトル化や周囲データとの高度な連携アーキテクチャの研究なども行っています。

さらには、これまで難しかった社内外の多種多様な業務の自動化を一気に促進するため、OKIグループ全社員を対象として安全に社内データを活用できるLLMサービスを展開しています。全社員のAI活用リテラシーを高めつつ、具体的な業務アプリケーションにLLMを組み込む対応を進めています。

生成AIの活用事例

コンシエージュ	対応負荷の軽減: 会話内容をリアルタイムにテキスト化、関連ナレッジを自動検索、回答を提示 対応後は、会話内容を自動要約・データベース登録
	WebからのQ&A対応自動化: 質問を自動解釈、関連規約などを適切に参照したわかりやすい回答を提示
アイデア創出	アイデア発掘支援: プレストで抽出のアイデアをツリー化、さらに膨らませるアイデア案を自動生成、議論活性化
	新規事業企画効率化: ビジネスモデルキャンバス記載に関する市場・企業・技術などの情報の深堀と提示
文書補助	報告書・ナレッジ蓄積効率化: 各種記録や会話記録などからレポートを自動作成
	契約締結業務の効率化: 契約書で重要な観点や網羅性をチェックし、問題点を自動抽出

グローバル展開の取り組み

OKIは「中期経営計画2025」で海外事業リスタートを掲げ、海外技術探索拠点の設置や、Crystal Film Bonding(CFB)のグローバル展開を始めとする施策を推進しています。OKI全体でのイノベーション活動を活性化させ、将来事業の創出を更に加速していきます。

シリコンバレーへの海外技術探索拠点設置

技術的競争力強化のため、アクセラレータ大手の米国Plug and Play, LLC(本社:米国カリフォルニア州サンニール市)とエコシステムプラス・パートナーシップ契約を締結し2024年5月よりシリコンバレーを拠点としたオープンイノベーション活動を開始しました。米国を中心に他地域へも活動範囲を拡大し、多数のスタートアップとの連携を推進します。世界中の技術革新をプラットフォームに効率的に取込み、イノベーションを加速します。



技術探索拠点を設置したPlug and Play社の外観



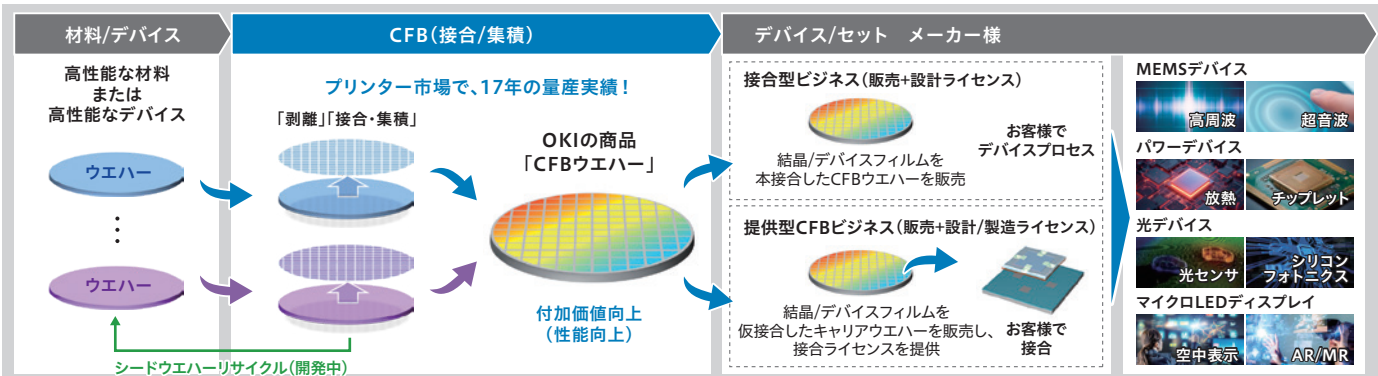
CFB®ソリューションのグローバル展開

詳細情報



情報化社会を支える半導体デバイスにおける付加価値向上のニーズが高まる中、多様な半導体デバイスを一体化させる技術は、半導体産業の持続的成長の鍵として注目されています。CFBは、OKIが世界で初めて量産に成功した半導体の異種材料接合技術で、ウエハーから機能層のみを剥離し、異なるウエハー上に接合する技術です。分子間力によるダイレクト接合であるため、電気、光、熱の相互作用により、従来技術では不可能だった新たな機能融合を実現します。OKIはCFBソリューションによる半導体デバイスの付加価値向上を通して、グローバルに「社会の大丈夫をつくっていく。」ことに貢献します。

CFBソリューションのビジネスモデル



イノベーションの取り組み

詳細情報

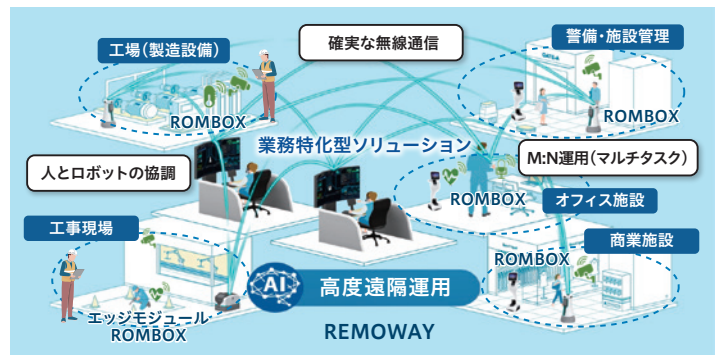


OKIはイノベーション・マネジメントシステム(IMS)のガイドライン規格ISO 56002を先取りしたIMS「Yume Pro」を構築・展開し、全員参加型の組織的なイノベーション創出に取り組んでいます。

高度遠隔運用を実現するリモートDXプラットフォーム技術「REMOWAY™」

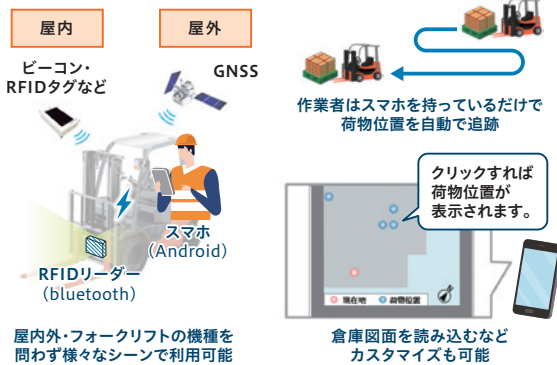
現場の深刻な人手不足や属人化という社会課題を解決するために、自動化やロボット化の需要が高まっています。これらの課題、需要に対して、遠隔地からの現場運用を可能とする高度遠隔運用プラットフォーム「REMOWAY」を基盤とし、お客様との共創を推進しています。

「REMOWAY」は、人やロボット、センサーなど多種多様なエッジデバイスが混在する環境下においても、柔軟に自律制御することで人とロボットの協調を可能とします。現場の業務特性に合わせたサービスやソリューションを提供することで、省力化や業務効率化を図り、人手不足の解消に貢献します。



※PF(Platform):プラットフォーム

荷物位置の自動測位システム 利用イメージ



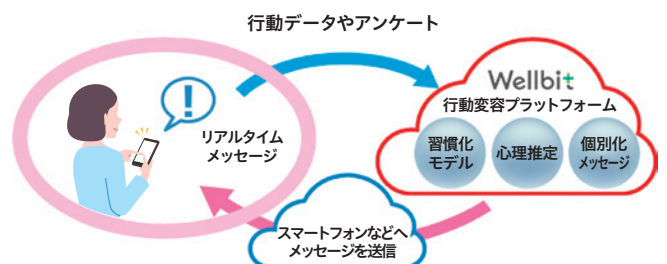
荷物や車両の位置情報を設置工事不要な仕組みで自動追跡

物流需要の拡大にともなう人手不足の問題を解決するため、現場の形態や運用に合わせた方法で、倉庫などにおける業務の生産性向上を実現します。

荷物位置の自動測位システムは、OKIのセンシング技術を用いることで、屋内外を問わず、現状の業務を殆ど変更する事なく、荷物の位置情報を自動で追跡・記録します。荷物位置の属人的な管理や記録ミスに起因した搜索工数を削減し、倉庫業務の効率化に貢献します。

タイムリーで個別化されたメッセージが行動の習慣化を支援する行動変容プラットフォーム「Wellbit™」

生産人口の減少など社会情勢を受け、働く人の健康に配慮した取り組みに注目が集まっています。OKIは行動科学、行動経済学をベースとした行動変容技術を研究し、行動変容プラットフォーム「Wellbit」を開発しました。行動や環境の時系列データを分析し、習慣化させたい対象行動に最適化されたメッセージを送ることで、健康行動の習慣化を目指します。これにより、「生産性向上に寄与する運動行動」「睡眠改善に寄与する日常行動」など、健康に無関心な方でも「気づいたら健康になっている」という社会の実現に貢献します。



サステナビリティの取り組み

詳細情報



OKIグループは企業理念に基づき、「社会の大丈夫をつくっていく。」企業として、社会課題の解決に貢献するとともに、企業価値を支える環境・社会・ガバナンス(ESG)の取り組みを推進しています。

環境

OKIグループは、気候変動が深刻化するなか、社会課題の解決を通してより良い地球環境を次世代に継承することをミッションと捉えています。SBT(パリ協定と科学的に整合する温室効果ガス削減目標)認定を取得した「OKI環境ビジョン2030/2050」を掲げ、環境に関連する経営上のリスクや機会を中長期の視点で考慮し、環境経営を推進しています。

環境負荷低減に配慮したスマート工場

埼玉県本庄市にある「OKI本庄工場H1棟」は、大規模生産施設として国内初となる『ZEB』※認定を取得しています。外壁や屋根の高断熱化や太陽光発電パネルの設置、稼働状況に連動した照明・空調・換気の制御といった環境負荷低減のほか、地元の地域材(秩父杉)の利用など地域との共存にも配慮しました。OKIはこのH1棟を、製造業のDXを実現するソリューションコンセプト「Manufacturing DX」を実現するスマート工場のモデルと位置づけてその取り組みをグループ内に展開し、お客様のニーズの変化・技術の進化にお応えしていきます。



OKI本庄工場H1棟

※ZEB(Net Zero Energy Building)

快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する一次エネルギーの収支をゼロにすることを旨とした建物(生産設備やOA機器などのエネルギー消費量はZEBの計算からは除外)。エネルギー削減率により次の4区分に分類される。

『ZEB』:100%以上、Nearly ZEB:75%以上、ZEB Ready:50%以上、ZEB Oriented:40%または30%以上

社会

OKIグループが社会環境の変化に対応し持続的に発展していくためには、多様な人材一人ひとりが能力を最大限に発揮して、イノベーションを創出することが不可欠です。OKIグループは人材を最も重要な経営資源の一つと位置づけ、人材育成をはじめとしたさまざまな取り組みにより、多様な人材が前向きに挑戦できる職場環境づくりを推進しています。

人材に関する外部認定

1 健康経営

健康経営優良法人
(OKI、OKIクロステック)



2 子育てサポート

くろみん認定(OKIソフトウェア)
プラチナくろみん認定
(OKI、OKIサーキットテクノロジー)



3 女性活躍推進

えるぼし認定
(OKI、OKIクロステック)



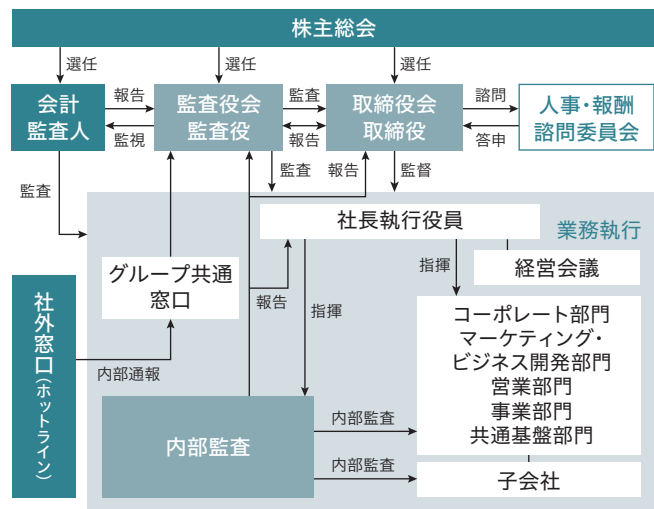
OKIが参画する
主なイニシアティブ・団体

- ・国連グローバル・コンパクト(UNGC)
- ・TCFDコンソーシアム
- ・気候変動イニシアティブ(JCI)
- ・チャレンジ・ゼロ
- ・Responsible Minerals Initiative(RMI)

ガバナンス

OKIグループは、多様なステークホルダーの信頼に応え、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図ることが経営の最重要課題であるとの認識に立ち、「経営の公正性・透明性の向上」「意思決定プロセスの迅速化」「コンプライアンスの徹底およびリスク管理の強化」を基本方針として、コーポレート・ガバナンスの充実に取り組んでいます。

コーポレート・ガバナンス体制

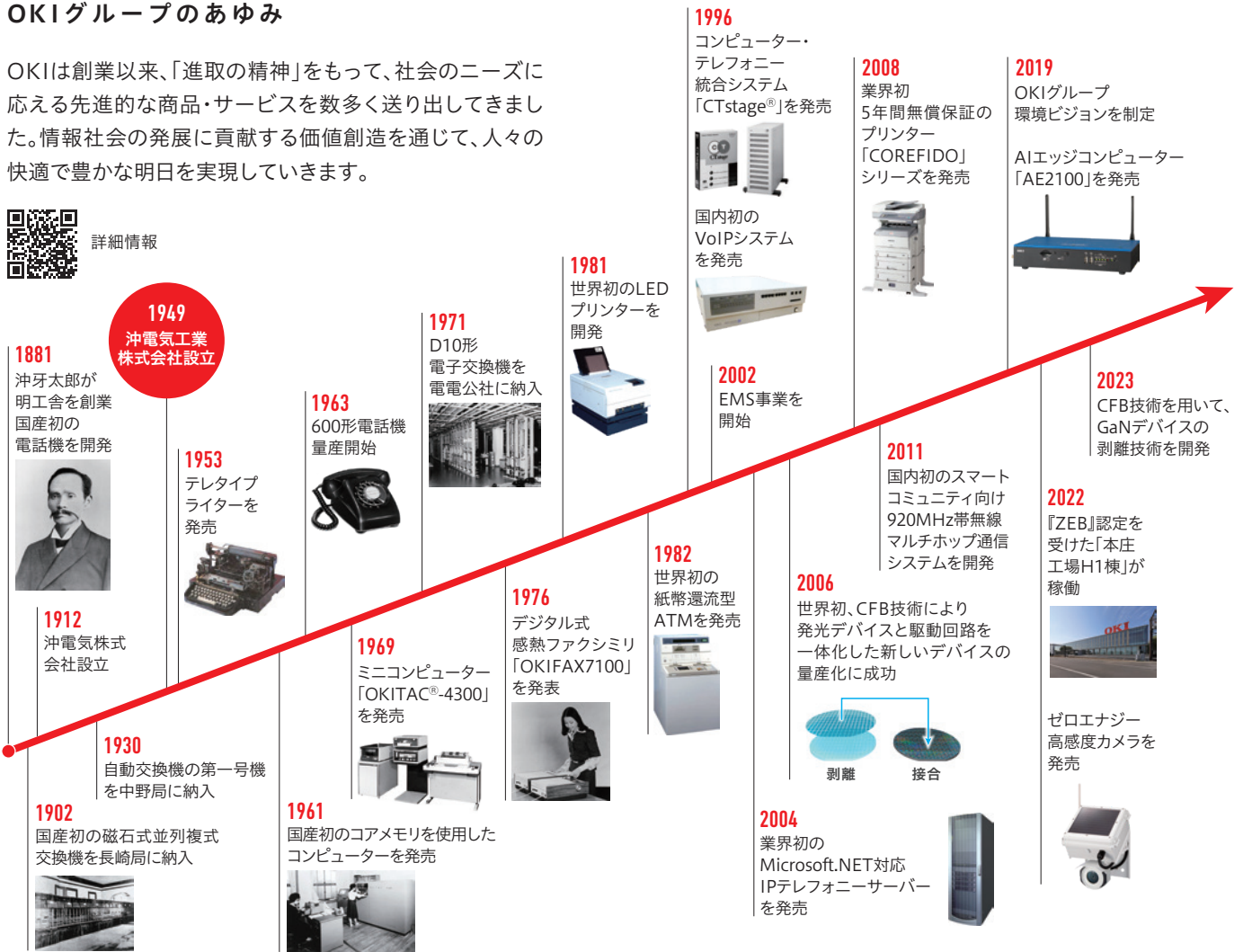


OKIグループのあゆみ

OKIは創業以来、「進取の精神」をもって、社会のニーズに応える先進的な商品・サービスを数多く送り出してきました。情報社会の発展に貢献する価値創造を通じて、人々の快適で豊かな明日を実現していきます。



詳細情報



広報メディアのご案内



OKI Webサイト

<https://www.oki.com/jp/>

OKIグループの企業情報、取り組み、製品・サービス情報などをご覧いただけるポータルサイトです。



OKI公式 YouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/c/OKIchannel>

OKIグループに関するさまざまな情報を動画でお届けしています。



OKI 公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/oki.japan/>

OKIグループの魅力を知っていただくことを目的に、OKIの「今」をお伝える情報をご紹介します。



OKIレポート

<https://www.oki.com/jp/ir/data/ar/news.html>

株主・投資家をはじめとしたステークホルダーにOKIグループの戦略や方針をご紹介します統合報告書です。



技術広報誌 OKIテクニカルレビュー

<https://www.oki.com/jp/otr/>

OKIグループの技術開発成果などを分かりやすく伝える技術広報誌です。



・沖電気工業株式会社は、通称をOKIとします。

・記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

会社概要

概要 (2024年4月1日現在)

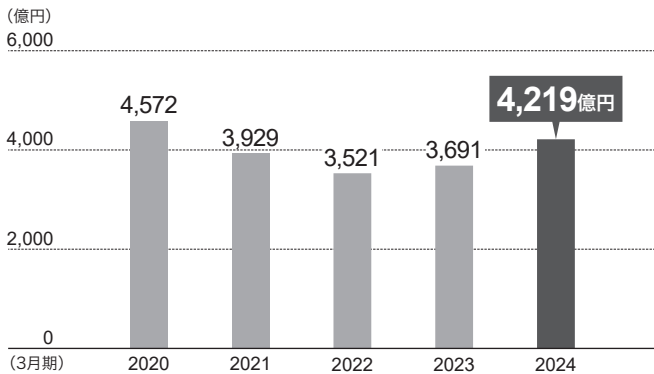
商号 沖電気工業株式会社
英文社名 Oki Electric Industry Co., Ltd.
創業 1881年(明治14年)
設立 1949年(昭和24年)11月1日
資本金 44,000百万円
従業員数※ 14,439名(連結)、4,648名(単独)

代表取締役社長執行役員兼 森 孝廣
最高経営責任者
本社 東京都港区虎ノ門1丁目7番12号
TEL 03-3501-3111
URL <https://www.oki.com/jp/>

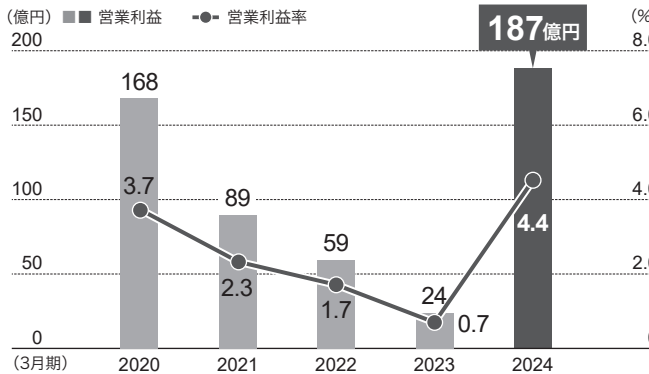
※ 2024年3月31日現在

売上高/営業利益/営業利益率

売上高(連結)



営業利益および営業利益率(連結)



役員紹介

(2024年6月21日現在)

取締役

取締役会長 鎌上 信也
代表取締役 森 孝廣
代表取締役 寺本 禎治
取締役 片桐 勇一郎
取締役 浅羽 茂^{※1}
取締役 斎藤 保^{※1}
取締役 川島 いづみ^{※1}
取締役 木川 眞^{※1}

監査役

常勤監査役 布施 雅嗣
常勤監査役 横田 俊之
監査役 津田 良洋^{※2}
監査役 小田 康之^{※2}
監査役 新家 寛^{※2}

執行役員

社長執行役員 森 孝廣
副社長執行役員 寺本 禎治
専務執行役員 片桐 勇一郎
上席執行役員 西村 浩
上席執行役員 加藤 洋一
執行役員 藤原 雄彦
執行役員 井上 崇
執行役員 井上 肇
執行役員 伊藤 貴志
執行役員 中津 正太郎
執行役員 小笠原 鑑
執行役員 鈴木 宣也
執行役員 本杉 正哉
執行役員 前野 蔵人
執行役員 加藤 圭
執行役員 中西 裕恵

※1 社外取締役

※2 社外監査役

拠点紹介 (2024年4月1日現在)

主要事業所

OKI虎ノ門オフィス(東京都港区)
OKI芝浦オフィス(東京都港区)
OKI蕨システムセンター(蕨市)
高崎事業所(高崎市)
本庄工場(本庄市)
富岡工場(富岡市)
沼津工場(沼津市)
西横手工場(高崎市)
小峰工場(あきる野市)
OKI関西テクノリサーチセンター(大阪市)

営業拠点

北海道
北海道支社(札幌市)

東北
東北支社(仙台市)
青森支店(青森市)
秋田支店(秋田市)

関東・甲信越・北陸
北関東・北信越支社(高崎市)
群馬支店(高崎市)
長野支店(長野市)
新潟支店(長岡市)
北陸支店(金沢市)

中部
中部支社(名古屋市)
静岡支店(静岡市)
岐阜支店(岐阜市)

関西
関西支社(大阪市)
京都支店(京都市)

中国
中国支社(広島市)
岡山支店(岡山市)
山陰支店(松江市)
山口支店(防府市)

四国
四国支社(高松市)
松山支店(松山市)
高知支店(高知市)
徳島支店(徳島市)

九州
九州支社(福岡市)
長崎支店(長崎市)
熊本支店(熊本市)
鹿児島支店(鹿児島市)
大分支店(大分市)
宮崎支店(宮崎市)
沖縄支店(浦添市)

主要子会社 (2024年4月1日現在)

国内

OKIアイディエス
アダチ・プロテクノ
OKIアドテックサポート
OKIアレステック
OKIエンジニアリング
OKIクロステック
OKIコムエコーズ
OKIコムテック
OKIコンサルティングソリューションズ
OKIサーキットテクノロジー
OKIジェイアイピー
OKIシンフォテック
OKIソフトウェア
OKIソフトウェアエキスパートサービス
OKIデータMES
OKI電線
OKI東邦電子
OKI富岡マニュファクチャリング
OKIトラステック
日本ビジネスオペレーションズ
OKIネクステック
OKIハイテック
バンキングチャネルソリューションズ
OKIプロサーブ
OKIマイクロ技研
モガミ電線
OKIワークウェル

海外

■ アメリカ

OKI Data Americas

■ ヨーロッパ

OKI Europe

■ アジア/オセアニア

沖電気金融設備(深圳)有限公司
日沖情報(大連)有限公司
沖電気実業(深圳)有限公司
沖電気香港有限公司
東莞沖美億電子有限公司
沖微型技研(香港)有限公司
沖電気線路科技(常州)有限公司
沖電気軟件技術(江蘇)有限公司
日沖商業(昆山)有限公司
日沖商業(北京)有限公司
OKI Data (Australia)
OKI Data (Singapore)
OKI Data Manufacturing (Thailand)
OKI India
OKI Systems Korea
OKI Systems (Thailand)
OKI VIET NAM